

教育研究等活動計画書

氏名		職種	教授 准教授 講師 助教 准助教 教務助手
所属部局		所属部門	

評価分野	重み (%)	教育研究等活動計画(自由記述)	部局中期計画番号 [該当するものがなければ 記載する必要はありません]
教育			
研究			
国際交流			
社会連携			
管理運営			

備考:

○「重み」欄は、教員個々の教育研究等活動について、評価分野毎の注力の割合を百分率で記入してください。

※部局長又は部局教員活動評価委員会等は、部局内での教育、研究、国際交流、管理運営等の任務の適切な分担を図るため、各教員が申告した重みや計画について、必要に応じ、調整を行う場合があります。

○「中期計画」欄には、教育研究等活動計画と整合する部局の中期計画の整理番号を記入してください。

○教育研究等活動計画は、修正することができます。

○部局で評価分野が追加された場合は、適宜、欄を追加してください。

留意点:

○部局長や部局教員活動評価委員会が事後的に計画の達成を検証しやすくするため、以下の視点についても考慮に入れつつ策定してください。

○なお、分野等により計画の特性は様々に異なることから、下記の視点は、計画策定の際の参考として示すものであり、一律に記載を求めるものではありません。

- ①過去の取組において生じた課題(もしくは長所)の解決(もしくは伸長)を図るための計画を立案
例1:○○に取り組んだものの、○○の課題が生じていることから、○○についても取り組むことで○○を改善させる。
例2:○○の顕著な成果を出したことから、新たに○○について取り組み、○○の成果を出すことを目指す。
- ②計画の内容に、より具体的取組を記載
例:○○を検証し、○○を行うことにより、○○を向上させる。
- ③計画を達成した結果として得られる成果についても併せて記載
例:○○を行うことにより、○○の成果をあげる。
- ④計画を達成したことを示す指標(達成指標)を記載
例1:「～を図る」→「～を図る」ために具体的に何をを行い、どのような水準にするのかを明示。
例2:「～を推進する」→「～を推進する」ために具体的に何をを行い、どのような状況にするのかを明示。
- ⑤取組の規模、割合、頻度などの数値や達成時期等について数値目標を提示
例:○回増加、○%減少、○件維持、○件以上、○年までに、など
例:「研究」分野の計画については、SciValやPureの数値等を活用
- ⑥職位(教授、准教授、講師、助教)に見合った計画となっているか確認。

《計画の記載例》

- ・○○を推進するため、○○を検証し、○○を行う。
- ・○年度までに○○に取り組む、○○について○○を増加(維持、減少)させる。
- ・○○を推進するために、○○に○回以上取り組み、○○の成果をあげる。

教育研究等活動状況評価書

別紙1で自らが設定した目標の進捗状況についての自己評価

氏名		職種	教授 准教授 講師 助教 准助教 教務助手
所属部局		所属部門	

評価分野	重み (%)	教育研究等活動計画 (別紙1記載事項)	教育研究等活動計画の進捗 状況(自由記述)	進捗状況の 自己評価	根拠資料
教育					
研究					
国際交流					
社会連携					
管理運営					

備考:

○「重み」欄は、予め提出した教育研究等活動計画書の記載に従ってください。

○「教育研究等活動計画の進捗状況」欄は、予め提出した教育研究等活動計画書の進捗状況について、記述してください。

○「進捗状況の自己評価」欄は、「教育研究等活動計画の進捗状況」を基に、進捗状況を次の標語で記入してください。

- 5 自らの見込みをはるかに上回る進捗状況である
 - 4 自らの見込みを上回る進捗状況である
 - 3 自らの見込み通りの進捗状況である
 - 2 自らの見込みを下回る進捗状況である
 - 1 自らの見込みを大きく下回る進捗状況である
- 該当無し 評価分野に該当がない

○「根拠資料」欄は、「年度活動報告書」以外に根拠となる資料がある場合に、当該資料名を記入してください。

○部局で評価分野が追加された場合は、適宜、欄を追加してください。

留意点:

○進捗状況の記載に際しては、計画の進捗状況を明確にするため、以下の視点を考慮に入れつつ記述してください。

○なお、活動状況の評価に当たっては、目標達成に向けたプロセス、取組の進捗状況等も含めて総合的に評価を行うものであり、目標の達成状況のみをもって評価が行われるものではありません。

- ①計画を行ったという事実だけでなく、具体的な取組内容や得られた成果についても記載
- ②顕著な成果についても記載し、計画達成を十分にアピール
(アピールする際には、全国初などの「希索性」、他の研究者や過去の自身の取組との「比較」、受賞や雑誌掲載等の「事実」等を記載)
- ③数値目標を提示した計画(規模、頻度、達成時期等)については、その進捗状況を明示
(数値目標を達成していない場合でも、目標に向けたプロセスや取組状況を説明することで、数値目標以外の達成状況を記載)
- ④計画を達成したことを示す指標(達成指標)があれば、その達成状況を記載
- ⑤職位(教授、准教授、講師、助教)に見合った進捗状況を記載
- ⑥全ての計画に対して、進捗状況を記載

《進捗状況の記載例》

計 画: ○○を推進するため、○○を検証し、○○を行う。

記載例: ○年～○年にかけて、○○を検証するため○○に取り組み、新たに○○を行った。このことにより、○○が可能となり、○○を推進することができた。しかし、○○については、○○であったため、○○について新たに取り組み予定である。

計 画: ○年度までに○○に取り組み、○○について○○を増加させる。

記載例: 当初の予定より1年早く○年度に○○に取り組んだ。この結果、○○について○○の課題は残ったものの、○○については○以上増加させ、○○の成果を得た。このことは○○や○○で報道されるとともに、○○から招待講演を受けるなど、○○から高い評価を得ている。

計 画: ○○を推進するために、○回以上○○に取り組み、○○の成果をあげる。

記載例: ○年度までに○回以上○○に取り組みだけでなく、○年度には新たに○○についても取り組んだ。この結果、○○で初めて○に成功するなど、当初の予想を大幅に超えて○○を推進した。この結果、○○において○○賞を受賞した。

評価分野別評価表

大学の基本的な業務分野(教育、研究等)への自身の関わりについての自己評価

氏名		職種	教授 准教授 講師 助教 准助教 教務助手
所属部局		所属部門	

評価分野	重み(%)	教育研究等活動計画(別紙1記載事項)	教育研究等活動計画の進捗状況(別紙2記載事項)	評価項目	項目別自己評価	分野別自己総合評価	根拠資料
教育				学士課程教育担当実績			
				大学院教育担当実績			
				卒業論文等指導			
				大学院論文指導			
				学生支援活動			
				その他活動			
研究				研究論文, 著書等			
				研究発表			
				外部研究費の受け入れ			
				共同研究の取り組み			
				その他活動			
国際交流				国際共同研究			
				国際会議			
				国際的教育への取り組み			
				留学生等の受け入れ			
				その他活動			
社会連携				学協会活動			
				教育面での社会連携			
				審議会等の活動			
				産学連携			
				その他活動			
管理運営				部局長等			
				全学委員			
				部局・部門等委員			
				その他活動			

備考:

○「重み」欄は、予め提出した教育研究等活動計画書の記載に従ってください。

○「自己評価」欄は、評価項目及び評価分野について、自己評価した結果を次の標語で記入してください。

S 極めて高い活動状況である

H 高い活動状況である

M 普通の活動状況である

L 低い活動状況である

該当無し 評価分野並びに評価項目に該当がない

○「根拠資料」欄は、「年度活動報告書」以外に根拠となる資料がある場合に、当該資料名を記入してください。

○部局で評価分野、評価項目が追加された場合は、適宜、欄を追加してください。

個人評価書

氏名		職種	
所属部局		所属部門	
対象期間	平成 年 月 日	～	平成 年 月 日

		A 自己評価 【教員自らが設定した目標及びその進捗状況】			B 自己評価 【大学の基本的な業務分野への関わり】		
評価分野	重み(%)	教育研究等活動			評価分野別評価		
		計 画	教育研究等活動計画の進捗状況	進捗状況の自己評価	評価項目	項目別自己評価	分野別自己総合評価
教 育					学士課程教育担当実績		
					大学院教育担当実績		
					卒業論文等指導		
					大学院論文指導		
					学生支援活動		
					その他活動		
研 究					研究論文、著書等		
					研究発表		
					外部研究費の受け入れ		
					共同研究の取り組み		
					その他活動		
国際交流					国際共同研究		
					国際会議		
					国際的教育への取り組み		
					留学生等の受け入れ		
					その他活動		
社会連携					学協会活動		
					教育面での社会連携		
					審議会等の活動		
					産学連携		
					その他活動		
管理運営					部局長等		
					全学委員		
					部局・部門等委員		
					その他活動		

C 部局評価 【Aを参考にしながら Bについて評価】
評価分野別 部局評価※

備考:

- 「重み」欄は、予め提出した教育研究等活動計画書の記載に従ってください。
- 「教育研究等活動」及び「評価分野別評価」の欄は、各々の自己評価書から転記してください。
- 「評価分野別部局評価」欄は、「教育研究等活動」の記述を踏まえ、「評価分野別評価」の分野別の活動状況について、部局が評価し、記入します。
- 部局評価の標語は、次の標語で記入してください。
 S: 極めて高い活動状況である、 H: 高い活動状況である、 M: 普通の活動状況である、 L: 低い活動状況である、 該当無し: 評価分野に該当がない
- 部局で評価分野、評価項目が追加された場合は、適宜、欄を追加してください。
- 部局において総合評価を実施する場合は、適宜、記入欄を追加してください。

留意点:

- 活動状況の評価に当たっては、設定目標や数値目標の達成状況だけでなく、目標達成に向けたプロセス、取組の進捗状況等も含めて総合的な評価を行ってください。

年度活動報告書

氏名：

職名：

所属：

活動期間： 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 (月)

I. 教育

1. 大学院教育

(1) 大学院講義科目

授業科目、学期、単位数

(2) 大学院実験・実習・演習科目

授業科目、学期、単位数

(3) 修士課程指導学生

修了者数、学生数

(4) 博士課程指導学生

修了者数、学生数

(5) 博士学位論文調査委員

論文題目、甲／乙の区分、取得年月、主査／副査

2. 学士課程教育

(1) 専攻教育講義科目

授業科目、学期、単位数

(2) 専攻教育実験・実習・演習科目

授業科目、学期、単位数

(3) 全学教育講義科目

授業科目、学期、単位数

(4) 全学教育実験・実習・演習科目

授業科目、学期、単位数

(5) 学生指導

卒業論文・卒業研究指導学生数

(6) 学生支援

学生のクラス指導等（学生委員会委員、学生生活相談委員、クラス指導教員、履修指導教員等）

学生課外活動指導等

3. その他教育活動

(1) その他講義担当（JTW等）

(2) 研究生等の受け入れ

4. 自由記述欄

--

II. 研究

1. 研究課題

- (1) 主な研究テーマ
- (2) 従事しているプロジェクト研究（共同研究のテーマ及び対象等）

2. 研究成果

- (1) 学会発表等（学界発表、学術的会合における発表等）
- (2) 原著論文（学術雑誌、会議報告書、紀要等）
- (3) 著書
- (4) 総説等
- (5) 作品等
- (6) 特許出願

3. 研究資金等の受け入れ

- (1) 科学研究費補助金の受け入れ
- (2) その他競争的資金（受託研究を含む）の受け入れ
- (3) 共同研究、受託研究（競争的資金を除く）による外部資金の受入状況
- (4) 寄附金の受け入れ
- (5) 学内研究資金の受け入れ

4. その他研究活動

- (1) 受賞

5. 自由記述欄

--

III. 国際交流

1. 研究活動

- (1) 国際研究プロジェクト（共同研究、研究交流等）
- (2) 国際会議、国際シンポジウム
- (3) 海外での研究活動
- (4) 外国人研究者等の受け入れ

2. 教育活動

- (1) 海外との教育・学生交流
- (2) 留学生・研修生等の受け入れ
- (3) 諸外国を対象とした高度専門職業人教育活動
- (4) 国際教育イベント等への参加

3. 国際協力活動

- (1) 国際政策形成への寄与
- (2) 国際協力事業

4. 自由記述欄

--

IV. 社会連携

1. 学協会活動

- (1) 学協会役員等への就任
- (2) 学会誌等の編集への参加
- (3) 学術論文等の審査（論文査読）

2. 教育活動

- (1) マスメディア等での活動
- (2) 一般市民、地域社会及び産業界等を対象とした活動
- (3) 初等・中等教育への貢献

3. 審議会等参加

- (1) 審議会、政策研究会等
- (2) 文部科学省、日本学術振興会等による事業の審査委員等

4. 産学連携活動

- (1) 共同研究

5. 自由記述欄

--

V. 管理運営

1. 役職・委員等

- (1) 部局長等
- (2) 全学委員
- (3) 部局委員
- (4) 部門等委員

2. その他大学業務

3. 自由記述欄

--

個人評価通知書

氏名		職種	
所属部局		所属部門	
対象期間	平成 年 月 日	～	平成 年 月 日

					自己評価			部局評価
評価分野	重み(%)	教育研究等活動			評価分野別評価			評価分野別 部局評価
		計 画	教育研究等活動計画の進捗状況	進捗状況の 自己評価	評価項目	項目別 自己評価	分野別 自己総合評 価	
教 育					学士課程教育担当実績			
					大学院教育担当実績			
					卒業論文等指導			
					大学院論文指導			
					学生支援活動			
					その他活動			
研 究					研究論文、著書等			
					研究発表			
					外部研究費の受け入れ			
					共同研究の取り組み			
					その他活動			
国際交流					国際共同研究			
					国際会議			
					国際的教育への取り組み			
					留学生等の受け入れ			
					その他活動			
社会連携					学協会活動			
					教育面での社会連携			
					審議会等の活動			
					産学連携			
					その他活動			
管理運営					部局長等			
					全学委員			
					部局・部門等委員			
					その他活動			

○評価の標語の意味は、次のとおりである。

教育研究等活動の「進捗状況の自己評価」(5: 自らの見込みをはるかに上回る進捗状況である, 4: 自らの見込みを上回る進捗状況である, 3: 自らの見込み通りの進捗状況である, 2: 自らの見込みを下回る進捗状況である, 1: 自らの見込みを大きく下回る進捗状況である)

評価分野別評価の「分野別自己総合評価」及び「部局評価」(S: 極めて高い活動状況である, H: 高い活動状況である, M: 普通の活動状況である, L: 低い活動状況である)

平成 年度評価の結果について上記のとおり通知します。

平成 年 月 日

大学評価委員会委員長